



## 編集方針

SMBCグループでは、グループの概要、事業戦略および経営基盤等について、財務情報、非財務情報の両面からステークホルダーの皆さまに簡潔にご説明するため、「SMBC GROUP REPORT 2020」を作成しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワーク」等を参照しています。なお、詳細なデータ等に関しては、「SMBC GROUP REPORT 2020 資料編」をご覧ください。また、サステナビリティへの取組については、ウェブサイトでごくわしく説明しています。

本資料（ディスクロージャー誌本編および資料編）は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明資料）です。本資料には、当社グループの財政状態および経営成績に関する当社グループおよびグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」「予測」「期待」「意図」「計画」「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、保有株式にかかるリスク、不良債権残高および与信関係費用の増加、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事

業・提携・出資・買収および経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク等です。こうしたリスクおよび不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態および経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。

---

## 報告対象

期間：2019年度（2019年4月～2020年3月）

一部に2020年4月以降の情報も含まれます。

範囲：三井住友フィナンシャルグループおよびその子会社・関連会社

## 発行時期

2020年7月

## お問い合わせ先

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ 広報部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-2

TEL (03)3282-8111

---

# CONTENTS

## SMBCグループについて

---

- 004 新型コロナウイルス感染症への対応
- 006 SMBCグループの沿革
- 008 財務ハイライト
- 009 ESGハイライト
- 012 SMBCグループの価値創造プロセス

## ステークホルダーの皆さまへ

---

- 014 CEOメッセージ
  - 026 新中期経営計画の基本方針
  - 028 カラを、破ろう。
- 030 CFOメッセージ
  - 036 新型コロナウイルス感染症による業務影響
- 038 社外取締役座談会

## 価値創造のための事業戦略

---

- 044 グループ体制
- 046 リテール事業部門
- 050 ホールセール事業部門
- 054 グローバル事業部門
- 058 市場事業部門

## 価値創造を支える経営基盤

---

- 064 コーポレートガバナンス
  - 072 SMBCグループ・グローバル・アドバイザー
  - 074 三井住友フィナンシャルグループの取締役
- 078 サステナビリティ経営の実践
- 084 お客さま本位
- 087 内部監査
- 088 リスク管理への取組
- 092 コンプライアンス体制
- 094 人事戦略
- 098 IT戦略
- 100 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 102 業績と財務状況



「SMBC」はグループ全体のマスターブランドです。  
グループ各社がこのロゴを使用し、SMBCブランドを訴求していくことで、  
グループ全体のさらなるブランド力強化を目的としています。

### ライジングマーク

「SMBC」の横の上昇カーブを描くマークはグループが提供する一層価値あるサービス、  
先進的・革新的なサービスにより、お客さま、株主、社会とともにグループが発展していく  
願いが込められています。

### コーポレートカラー

ライジングマークに使用されるフレッシュグリーンは、若々しさ、知性、やさしさを、マーク  
背景色にも使用するトラッドグリーンは、伝統、信頼、安定感を表しています。